

特色ある人権学習の取組

水島中学校区人権学習推進委員会

水島中学校区は水島地区の中心地である。戦前に軍需工場を旧東高梁川の廃川地先に設置したことから新しい町が創設され、戦後もその工業地や工業港を控えた町として発展してきた。しかし、石油ショック以来の経済的变化や周辺部の宅地化により、現在は水島地区全体の中では高齢化率が高い地域となっている。

水島中学校区人権学習推進委員会では、創立以来外国人や高齢者・子どもの人権などに関連したふれあい交流事業に重点を置き取り組んで来た。

推進テーマ・・・「さがそうよ みんなの心をつなぐかぎ」

推進の重点・・・「高齢者と子どもの人権」

「ふれあい交流会」では水島児童館との共催でグランドゴルフを高齢者と子どもがともに楽しむ取組と、お手玉をともに作り、遊ぶという取組を続けてきた。また、のぞみ保育園との共催で園児とともに散歩したり、遊戯を楽しむふれあい遠足を行ったり、秋には一緒に落ち葉作品をつくったり、演技を発表したり、焼きいもを食べたりする交流を重ねている。また、「外国料理を楽しもう」の取組は、最初、在日の講師とともに韓国料理に挑戦し、皆で食事をしながら、その文化や考え等を理解して交流を深めたことから始まった。その後毎年様々な外国の講師を招いて交流理解を深めてきた。

平成24年度に中学校区人権啓発キャラクターの「はあとくん」を作成し、啓発に活用している。



はあとくん

